

Game Report

開催場所：日本経済大学

試合区分：第 26 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2019 年 11 月 3 日(日)

試合時間：14：00～

CC：和田 敏文

U1：大久保 好純

U2：西崎 拓哉

東海大学九州	○ 107	20	—1st—	24	● 69	鹿屋体育大学
		28	—2nd—	17		
		36	—3rd—	13		
		23	—4th—	15		

第 1 クォーター

開始早々、鹿体大#9長谷川がバスケットカウントを決め試合スタート。東海大は速い展開から#22藤井、#21松井が3Pシュートを決め、全員が果敢にリングアタックを試みる。鹿体大は#23松井のドライブからの外への合わせのシュートで得点を重ね、着実に決めていく。終了間際、東海大#7石橋がジャンプシュートを決めるも、24-20鹿体大リードで第1クォーターを終える。

第 2 クォーター

均衡状態が続く中、先に均衡を破ったのは鹿体大#25野口の3Pシュート。その後も、ブレイクや#5迎の得点により流れを引き寄せ。追いつきたい東海大は#70森口の素早いドライブから外に展開し得点を決め、ディフェンスではオールコートプレスを仕掛け鹿体大を苦しめていく。さらに、#7石橋が3Pシュートを決め鹿体大のタイムアウトを誘い出す。タイムアウト後も、東海大の勢いは止まらず、#23中村の3Pシュートの連続得点で逆転され、流れは東海大のまま48-41東海大リードで前半を折り返す。

第 3 クォーター

東海大#6石井のジャンプシュートで後半戦がスタートする。東海大は前半同様オールコートプレスを仕掛け鹿体大のミスを誘い出し、容易にボールを運ばせない。鹿体大は東海大のディフェンスに苦しめられ、残り5:24タイムアウトを請求する。鹿体大はタイムアウト後、#12川尻、#21池浦が果敢にインサイドで攻めていくも思うように得点できない。東海大#23中村が3Pシュートのバスケットカウントを決め一気に勢いづく、流れは東海大のまま84-54東海大リードで第3クォーターを終える。

第 4 クォーター

東海大は#0松本、#23中村の連続3Pシュートが決まり、出だしから流れを引き寄せ勢いづく。鹿体大は#21池浦を中心に攻めていくもリングに嫌われ苦しい展開が続く。東海大は全選手が出場を果たし全員で試合を作り上げていき試合にとどめを刺す。鹿体大は#23松井のアシストから#2櫻谷が3Pシュートを決め得点を取るも、東海大の厳しいディフェンスに自チームのプレースタイルでプレーすることが出来ず107-69で東海大が勝利を収めた。